

【週刊タバコの正体】

Vol.40 第11話～第14話

2018/07 和歌山工業高校 奥田恭久

■Vol. 40

(No. 554) 第11話 タバコを吸う時間

一身体をいじめるためだけの時間をわざわざ作っている...

ニコチン依存症の喫煙者は毎日、必ず何本かのタバコを吸う必要があります。だから下図にあるように、喫煙者は勤務中でも毎日何回かタバコを吸う時間が必要となってきます。タバコの有害性が一般に広く認識されていなかった半世紀前は、職場でタバコを吸いながら仕事をする光景は当たり前でしたが、受動喫煙の有害性が世間の常識となった現代では、タバコを吸いながら仕事ができる職場は、ほぼありません。つまりタバコを吸うためには職場を離れて喫煙場所に移動しなければならず、その間は仕事ができないのです。

(No. 555) 第12話 様々な配慮

一見煙が消えた後のニオイまで配慮しなければならない事...

他人のタバコの煙を吸われるのが受動喫煙です。喫煙者が手にした火の着いたタバコから出る副流煙や吐く息などを吸い込むことなのですが、煙はなくてもタバコの不快なニオイを感じることがありますよね。下のイラストのようにタバコを手にしていなくても、ついさっきまでタバコを吸っていた喫煙者が近くになると、いやなニオイを感じます。

(No. 556) 第13話 もったいない費用

一タバコ代に何百万円もかけた見返りは病気の治療代...

一旦ニコチン依存症になってしまうと、毎日来る日も来る目札タバコを吸わずにいられません。だから、喫煙者は頻繁にタバコを購入しなければなりません。いったいタバコついでいくらか知っていますか。沢山の種類があって値段もいろいろなのですが、だいたい20本入りで450円ぐらいです。一日20本吸う人なら、毎日450円をタバコ代に充てなければなりません。すると↓ヶ月で約↓3,500円、T年365日で↓64,250円か必要です。さらに↓0年吸い続けると↓60万円以上、30年吸い続けると500万円近く、タバコ代に使う計算になります。

一本あたりにすると20円ぐらいのものです。毎日ですから長年吸い続けると相当な額になります。そんな大金を払って何か良い事があるかと言うと、全くありません。それどころか30年も吸い続ければ、タバコが原因で病気になる人が多発します。まるで病気になるために500万円を使うようなものです。

(No. 557) 第14話 タバコはもっと高くなる

一世界の潮流をみれば日本のタバコは安すぎる...

何十年も喫煙を続けるとタバコ代が何百万円にもなる事は紹介しましたね。「タバコは高い」と感じる人は多いでしょうが、下のグラフを見て下さい。世界中で販売されている「マルポロ」という銘柄のタバコの価格を示したもので、一番下に位置する日本の430円に対し、フランスはその2倍、イギリス、アメリカは3倍、オーストラリアは、なんと5倍も高い値段で販売されています。

April-July 2018 40th volume SERIAL NUMBER 554 第11話 週刊 タバコの正体

ニコチン依存症の喫煙者は毎日、必ず何本かのタバコを吸う必要があります。だから下図にあるように、喫煙者は勤務中でも毎日何回かタバコを吸う必要となってきます。タバコの有害性が一般に広く認識されていなかった半世紀前は、職場でタバコを吸いながら仕事をする光景は当たり前でしたが、受動喫煙の有害性が世間の常識となった現代では、タバコを吸いながら仕事ができる職場は、ほぼありません。つまりタバコを吸うためには職場を離れて喫煙場所に移動しなければならず、その間は仕事ができないのです。

喫煙率は年々減少しており、平成29年度の成人喫煙率(TT全国喫煙率調査)は男性28.2%、女性9.0%です。この状況からみると、大半の人はタバコを吸う時間が必要ありません。そんな多くの人たちは、勤務中に何度も職場を離れる喫煙者の様子のように感じているでしょうか。

さらに、経営者の立場にたてば下図のような労働時間のロスは好ましくありません。例えば、業種も規模も同じの企業で喫煙者がいないA社と大半が喫煙者のB社があったとすると、競争力に差がでると思いませんか。

「タバコを吸う時間」は必要ない方が生活しやすい時代です。

産業デザイン科 奥田 恭久

勤務中の喫煙による離席

1時間に1本の喫煙をする場合、勤務時間に5回も喫煙のために離席します。



残業代を1時間1,420円とすると、

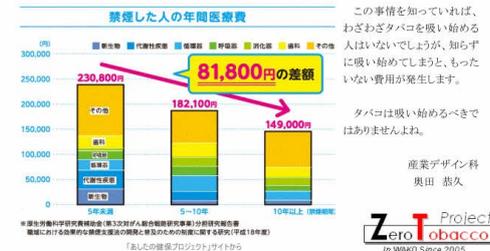
1年間で約 **17万円** もの労働時間のロスです!

厚生労働科学研究費補助金(第3次若がん総合戦略研究事業)分科研究費(産業界における労働時間と健康増進の関連と働き方の改善に関する研究(平成14年度) 2,500(11)107)
ファイザー(禁煙からはじめよう、健康な職場環境作り)1075
Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005

April-July 2018 40th volume SERIAL NUMBER 556 第13話 週刊 タバコの正体

一旦ニコチン依存症になってしまうと、毎日来る日も来る目もタバコを吸わずにいられません。だから、喫煙者は頻繁にタバコを購入しなければなりません。いったいタバコついでいくらか知っていますか。沢山の種類があって値段もいろいろなのですが、だいたい20本入りで450円ぐらいです。一日20本吸う人なら、毎日450円をタバコ代に充てなければなりません。すると↓ヶ月で約↓3,500円、1年365日で↓64,250円が必要。さらに↓0年吸い続けると↓60万円以上、30年吸い続けると500万円近く、タバコ代に使う計算になります。

一本あたりにすると20円ぐらいのものです。毎日ですから長年吸い続けると相当な額になります。そんな大金を払って何か良い事があるかと言うと、全くありません。それどころか30年も吸い続ければ、タバコが原因で病気になる人が多発します。まるで病気になるために500万円を使うようなものです。



厚生労働科学研究費補助金(第3次若がん総合戦略研究事業)分科研究費(産業界における労働時間と健康増進の関連と働き方の改善に関する研究(平成14年度) 2,500(11)107)
「禁煙した人の年間医療費」グラフより
産業デザイン科 奥田 恭久
Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005

毎週火曜日発行



URL: http://www.jascs.jp/truth_of_tobacco/truth_of_tobacco_index.html

※週刊タバコの正体は日本禁煙科学会のHPでご覧下さい。
※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。
※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。

